

*2014年12月改訂 (第4版)
2007年10月改訂

無機質製剤
その他の調剤用薬

日本薬局方 塩化ナトリウム

Sodium Chloride

* 塩化ナトリウム「トミタ」

貯法：気密容器
室温保存
* 使用期限：外箱に表示

日本標準商品分類番号	
873229	
87719	
承認番号	(60AM)1323
薬価収載	1985年 7月
販売開始	1985年 8月
再評価結果	1977年10月

*【組成・性状】

1. 組成

本品は1g中、日本薬局方塩化ナトリウム1gを含有する。

2. 性状

本品は無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。

【効能・効果】

〈経口〉 食塩喪失時の補給

*〈注射〉 [0.4%注射液]

注射剤の溶解希釈剤

【生理食塩液】

細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、ク
ロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤

【10%注射液】

ナトリウム欠乏時の電解質補給

【1mol/L、2.5mol/L注射液】

電解質補液の電解質補正

〈外用〉 皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そ
う・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・咯
痰排出促進

〈その他〉 医療用器具の洗浄

【用法・用量】

〈経口〉 塩化ナトリウムとして、通常成人1回1～
2gをそのまま、又は水に溶かして経口投
与する。なお年齢、症状により適宜増減する。

*〈注射〉 [0.4%注射液]

適量を取り注射用医薬品の希釈、溶解に用
いる。

【生理食塩液】

(1) 通常20～1000mLを皮下、静脈内注
射又は点滴静注する。なお年齢、症
状により適宜増減する。

(2) 適量を取り、注射用医薬品の希釈、
溶解に用いる。

【10%注射液】

電解質補給の目的で、輸液剤などに添加し
て必要量を静脈内注射又は点滴静注する。

【1mol/L、2.5mol/L注射液】

電解質補液の電解質の補正として体内の水
分、電解質の不足に応じて電解質補液に添
加して用いる。

〈外用〉 (1) 通常等張液として皮膚、創傷面、粘
膜の洗浄、湿布に用いる。

(2) 通常等張液として含そう、噴霧吸入
に用いる。

〈その他〉 生理食塩液として医療用器具の洗浄に用いる。

【使用上の注意】

* 1. 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

- 〈経口〉 (1) 心臓、循環器系機能障害のある患者
[塩化ナトリウムを負荷することから
心臓に負担をかけ、症状が悪化する
おそれがある。]
(2) 腎障害のある患者 [塩化ナトリウム
の過剰投与に陥りやすく、症状が悪
化するおそれがある。]

〈注射〉【生理食塩液】

- (1) 心臓、循環器系機能障害のある患者
[循環血流量を増すことから心臓に負
担をかけ、症状が悪化するおそれ
がある。]
(2) 腎障害のある患者 [水分、塩化ナト
リウムの過剰投与に陥りやすく、症
状が悪化するおそれがある。]

【10%注射液】、【1mol/L、2.5mol/L注射液】

- (1) 心臓、循環器系機能障害のある患者
[塩化ナトリウムを負荷することから
心臓に負担をかけ、症状が悪化する
おそれがある。]
(2) 腎障害のある患者 [塩化ナトリウム
の過剰投与に陥りやすく、症状が悪
化するおそれがある。]

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる
調査を実施していない。

その他の副作用

〈経口〉 大量投与：悪心・嘔吐等の胃腸症状、高ナ
トリウム血症、うっ血性心不全、浮腫があ
らわれることがある。

*〈注射〉【生理食塩液】

大量急速投与：血清電解質異常、うっ血性
心不全、浮腫、アシドーシスを起こすこ
とがある。

【10%注射液】、【1mol/L、2.5mol/L注射液】

大量投与：高ナトリウム血症、うっ血性心
不全、浮腫があらわれることがある。

* 3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量
するなど注意すること。

4. 小児等への投与

未熟児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性
は確立していない。

*5. 適用上の注意

〈注 射〉〔生理食塩液〕

(1) 投与前

- 1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること（患者の皮膚や器具消毒）。
- 2) 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。
- 3) 開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

(2) 投与时

ゆっくり静脈内に投与すること。

〔10%注射液〕、〔1mol/L、2.5mol/L注射液〕

(1) 調製方法

本剤は希釈して使用すること。

(2) 投与前

- 1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること（患者の皮膚や器具消毒）。
- 2) 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。
- 3) 開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

*【薬効薬理】

生体内に最も普遍的に存在する無機物質で、血清の無機成分の90%以上を占め、主として細胞外液にあって浸透圧の維持の主体をなすと共に、生体水分分布に係る主要な因子となっている。塩化ナトリウムは塩類作用を呈し、その吸収によって体液の浸透圧は上昇し、組織水分は体液中に吸収され組織代謝が亢進し、利尿作用を現す。塩化ナトリウムの欠乏はアルカローシス、痙攣、ときに筋肉の興奮を伴う嘔吐、異常発汗に基づく熱痙攣などの原因となり、またアジソン病に似た脱力症状を起こすことがある。

*【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：塩化ナトリウム（Sodium Chloride）

分子式：NaCl

分子量：58.44

性 状：本品は無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。本品は水に溶けやすく、エタノール（99.5）にほとんど溶けない。

【包 装】

500 g

*【主要文献】

日本薬局方解説書（廣川書店）

*【文献請求先】

富田製薬株式会社 学術室

〒771-0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1

TEL 088-688-0511 FAX 088-688-0565

製造販売元

Ⓣ 富田製薬株式会社
徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1